

令和2年8月13日

あふれる情報を批判的に直観せよ

学長 荒川哲男

最近、PCR検査の拡大について、テレビのコメンテーターの方が、専門家のポジティブな意見に対して、「証明されてないですよ」みたいなことを言われていました。論点は、海外で「どこでも、だれでも、何回でも」という無料のPCR検査拡大により、死者数が減少し、ついにゼロになったことについてでした。因果関係は確かに証明されていません。しかし、だからといって「まゆつば」と判断するのも軽率です。

私たちは3密の場面ではマスクをします。しかしそれは私の知る限り、7月15日の米国CDCの論文報告¹までは、マスクが新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐというエビデンスはありませんでした。因果関係を示すエビデンスは、状況証拠から遅れて（それも通常はかなり遅れて）出てきます。

検査拡大→陽性者隔離→感染拡大防止は新型コロナウイルスに限らず、感染症対策の基本です。PCR偽陰性が30%（本邦ではもっと少ないはずですが）で、70%の陽性判明者であっても、10日間隔離するだけで十分に効果が期待できます。今は状況証拠だけでも、安全なことは積極的にやっていくべきです。

新型コロナウイルスは、まだまだわからないことだらけです。でも徐々にわかってきたことも増えています。あふれる情報を批判的思考（critical thinking）で直観（直感ではなく）する力を養い、自分の頭で考えて、できることに取り組んでいきましょう。

1. MJ Hendrix, et al. Absence of Apparent Transmission of SARS-CoV-2 from Two Stylists After Exposure at a Hair Salon with a Universal Face Covering Policy - Springfield, Missouri, May 2020. MMWR Morb Mortal Wkly Rep. 2020 Jul 17;69(28):930-932.